

日本美術修復のゴ案内

重要指定文化財だけが「文化財」？

なぜ修復をおすすめするのか

日本画を例にとりますと、作品を構成する**主な素材である紙や絹、絵具は、特にお手入れや環境に影響を受けやすい**ものです。

加えて、日本の風土は冬の厳しい低温や乾燥、夏の過酷な高温や梅雨の過剰な湿度など、一年を通して大きな変動があります。

豊かな四季が作者の創作意欲を掻き立てると同時に、その作品に過酷な試練を与えるのです。

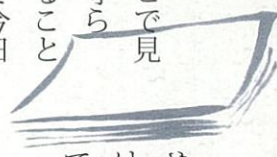
このために、ご所蔵の書画・木像などの御愛蔵品を永く鑑賞、保存するためには定期的なお手入れと必要に応じた修復は欠かせません。



美術の教科書や展覧会、テレビで見られるような美術品は十重二十重に守られ、必要なメンテナンスを受けることができたために、長い歴史を経て今日までその美しい姿を保ち、人類の宝として受け継がれています。

また、**傷んだまま放置され、埋もれていた美術品が修復を受け、昔の姿を取り戻し、再び多くの人々を楽しませる**こともあります。

貴重な文化財を守り、後世に伝えることはこれまで守り受け継いできた先達と、これから受け継ぐ次代への大事な責務といえます。



では、「貴重な文化財」とは、国宝や公に指定された重要文化財のことだけででしょうか。それ以外は修復するまでの価値はないのでしょうか。

無名ではあっても各家庭に伝わる書画、由来はわからなくとも受け継がれてきた品、それらは家族の記念や季節の行事に飾られた、家の歴史と共にあったものたちです。

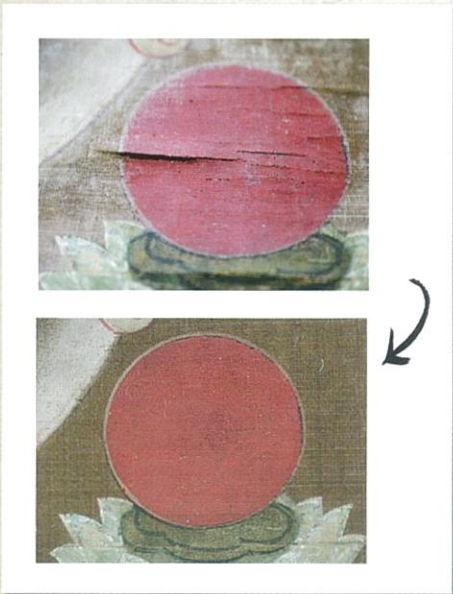
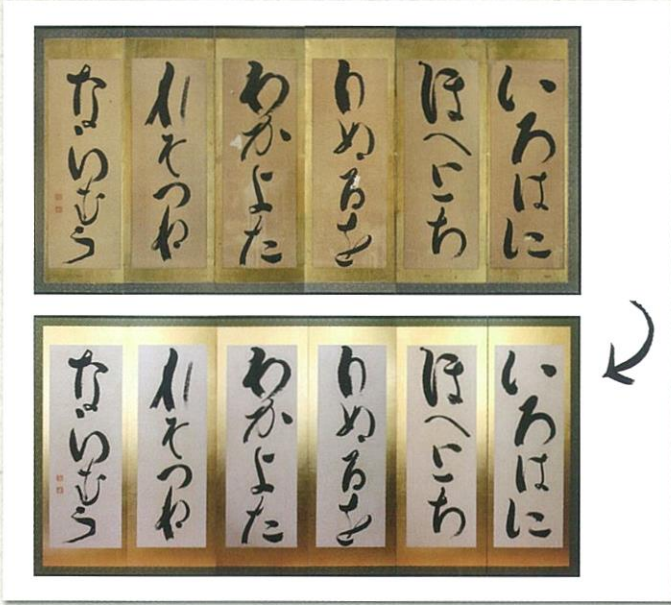
これらも所蔵者にとってはかけがえない次代へ受け継ぐべき「文化財」であります。

これまでに大切に伝えてきた人々の思いを受け、また、これからの人に伝えたいという思いがあれば、修復という選択肢が見えてくるのではないのでしょうか。



修復の成果

とはいえ、修復には時間と費用がかかることも事実です。
まずは、かかる費用をお知りになつたうえで、修復すること
の価値をお考えになられることをお奨めいたします。



診断から納品まで

ご依頼主様

修復依頼書・写真の送付

修復依頼書への記入。
修復依頼品の写真撮影。
診断書、写真を送付。

修復診断・お見積り

診断報告書、御見積書をもとに
修復の依頼を検討。

修復依頼・修復品の送付

修復の依頼。
修復品を送送。

修復工房

写真、診断書が届き次第、早々に診断。
診断報告書、御見積書を送付。
お預かりした写真を返却。

修復品の状態によってはお引き取り。
引取り後、写真入りのお預かり証を発行。

修復作業の一例の流れを
ご紹介いたします。
(掛軸の場合)

彩色部色止め作業

表面のチリをばらい輪郭を整え、膠水溶液にて絵具を定着させ、天狗戸帖紙にて表打して本紙を固定し乾かします。



総裏紙除去

最小限の水を霧吹きにて散布、古い総裏紙を除去します。
この時、水が多過ぎても少な過ぎてはいけません。



修復品の撮影・（オプション調査）

お預かりした修復品を写真撮影。
ご要望により詳細調査をいたします。
調査の結果は書面にてお渡しいたします。

修復作業・工程の記録

実際の修復作業に入ります。
修復中の作業は随時記録いたします。

仕上がり・納品

修復の完了した依頼品を
お受け取りください。

修復作業終了。
修復前、修復後の写真を添えてお引渡し。
オプションでご用命の詳細調査報告書、修
復工程アルバム、作品の解説がある場合、
あわせてお渡しいたします。

増裏紙・肌裏紙除去

総裏を除去後、さらに増裏紙、
肌裏紙と除去していきます。
本紙に直接接している肌裏紙
は最も酸化が激しく、本紙に傷
をつけないように、ピンセット
や針を用いて慎重に剥がしてい
きます。

肌裏を除去した後は新たな裏
打ちをするまで本紙を動かすこ
とができません。



クリーニング

裏打ち紙を除去した本紙を蒸
留水と吸取り紙でアクを抜いて
いきます。水道水や井戸水には
塩素、鉄分が含まれるため絵具
によっては微妙に変化すること
があるためです。よって、当工
房では蒸留水を用いております。

文化財修復で化学薬品を用い
ることは禁止されているため、
アクが抜けきるまで何十回とこ
の作業を繰り返します。

一、修復依頼書・写真の送付

修復依頼書に寸法、製作年代、傷み具合などの情報をわかる範囲でご記入のうえ、写真を添えてご送付ください。(郵送、又はメールにて)

また、作品に関する云われ等がございましたら、お書き添えください。

修復依頼書 記入例

修復依頼書		年月日
住所	〒123-4567 東京都方丈区方丈町123	
氏名	方丈太郎	TEL (123) 456-7890
フリガナ	ホウヂウ タロウ	FAX () 同上
依頼形態	<input type="checkbox"/> 他社 / <input type="checkbox"/> 個人 / <input type="checkbox"/> 財団 / <input type="checkbox"/> 小すま / <input type="checkbox"/> まくり (未表装の書画) / <input type="checkbox"/> 本像	
作品寸法	表紙 幅×高さ 180×52cm 裏紙 幅×高さ 180×52cm 扉紙 一面の寸法 24×24cm 小すま 一面の寸法 24×24cm 木像 高さ 180cm その他 ()	
作品ジャンル	書 / 画 / 版画 / その他 ()	
作品素材	紙 / 絹 / 麻 / その他 ()	
修復依頼品について	現在の作品の状態 (詳しく記入ください) 全体に横シリ多数 表紙裂地に破れ3ヶ所 書の部分に虫喰いとぬれたような大さじミ1ヶ所 全体的に茶色く変色している	
作品の由緒、保存の経緯など (必ず確認で記入ください)	作品タイトル、「梅にウケイヌ」図 作者：不明 親から受け付けたが、いつ頃のものが不明。	
付属品について	収納箱 <input checked="" type="checkbox"/> / 無し → 有りの場合、箱蓋は： <input checked="" type="checkbox"/> / 無し 収納箱の状態 <input checked="" type="checkbox"/> 割れてはいけないか、 <input checked="" type="checkbox"/> 相当古かている。 収納箱の耐震を希望 <input checked="" type="checkbox"/> する / <input type="checkbox"/> しない その他、付属品があればお書きください。 書まつけ1枚	
その他 (通称・愛称など)	作者名、画賛が読めないので、読みかたを教えてください。	



写真は全体写真1枚と傷んでいる部分のアップ写真をお送りください。

二、修復診断・お見積り

写真、修復診断書が弊社に届き次第、早々に診断のうえ、お預かりした写真とともに修復診断報告書、お見積書をお送りいたします。(通常7〜10日程度要します)

無料

修復概要

- (写真撮影) 彩色部に膠の水溶液2%を2回塗る。(修理前調査)
- 本紙を軸から外し、全体に水分をあたえ総裏、増裏を除去。浄水にてクリーニングをした後、本紙を裏から養生紙にて固定し、肌裏紙を除去。
- 矢車と裏紙にて除めた美濃紙にて肌裏を打ち、美濃紙にて増裏を入れ、長期間仮張り貼り込む。
- 本紙修復
本紙の組織に合った補修糊にて欠失箇所の補修を行う。
補修箇所は、地色にて補修を施す。
- 表紙裂地については、正絹本金製を新調致す。いずれも本紙同様、薄美濃紙にて肌裏を打ち、美濃紙にて増裏を打ち、仮張りに貼り込み乾燥させる。
- 本紙と裂地の、付帯しをおこなう。(表装一真の裏) 矢車と裏紙にて除めた美濃紙にて、折れ伏せ入れを致す。
- 宇田紙にて総裏を打ち。
- 長期間仮張りにかけて、充分に乾燥させる。一旦仮張より剥がし、表返してもう一度貼り込む。
- 軸先は本金製消金軸を新調して用いる。上下軸木、啄木(正絹古代票)は、新調し、元通りの軸装仕立とする。
- 桐箱は太巻とし、本宝物を収納する。

太巻箱付 本金サビ箱仕立

種別	数量	単価	金額
本紙修復	1	*****	*****
仮張調整	1	*****	*****
仕立て	1	*****	*****
表紙	1	*****	*****
その他			
表紙裏紙	4	*****	*****
裏紙	4	*****	*****
宇田紙	4	*****	*****
養生紙	8	*****	*****
上巻糊	1	*****	*****
一文字			
中継	1	*****	*****
外縁	4.5	*****	*****
軸先	1	*****	*****
軸木八段	1	*****	*****
啄木組	2	*****	*****
桐箱	1	*****	*****
合計			*****
消費税			*****
税込金額			*****
合計金額			*****

太巻箱付 綴子仕立

種別	数量	単価	金額
本紙修復	1	*****	*****
仮張調整	1	*****	*****
仕立て	1	*****	*****
表紙	1	*****	*****
その他			
表紙裏紙	4	*****	*****
裏紙	4	*****	*****
宇田紙	4	*****	*****
養生紙	8	*****	*****
上巻糊	1	*****	*****
一文字			
中継	1	*****	*****
外縁	4.5	*****	*****
軸先	1	*****	*****
軸木八段	1	*****	*****
啄木組	2	*****	*****
桐箱	1	*****	*****
合計			*****
消費税			*****
税込金額			*****
合計金額			*****



本紙肌裏打の準備
肌裏用の和紙を草木染めにて染め、本紙の色に合わせます。本紙に合う色が出るまで、何度も試みます。(写真右は古絵の修復に欠かせない矢車草の美)



補綴
本紙欠損部分を最寄りの絹や草木染めて地色と同系色に染めた布、劣化させた絹等で補綴します。欠損と出来るだけ同じ形で補綴します。

三、修復依頼・修復品の送付

ご検討のうえご依頼いただく場合は、修復品現物をお送りいただけます。長期間お預かりする場合もごございますので、安心してお預け頂けますよう、写真入りのお預かり証を発行いたします。

お預かり証

様 平成 年 月

修復品預かりに付きます。30日以内の返却をお願いします。

東方文堂出版

品名	数量	備考
複製品入庫品 5冊目		返あり、書架あり



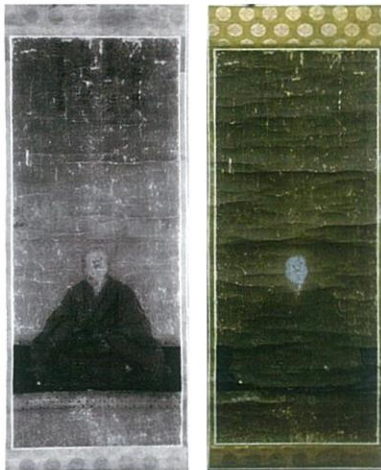
修復のご依頼は電話、ファクス、メールにて承ります。

特に傷みの激しい作品や、サイズの大きな作品の場合はお引き取りに伺うことも可能です。

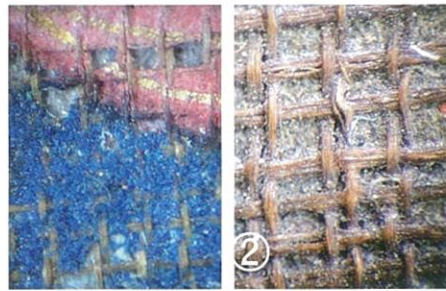
四、撮影・事前詳細調査（オプション）

修復品の到着後、写真撮影をいたします。その後、ご要望があればオプションにて詳細調査を行います。

例としては、プロカメラマンによるボジフィルム撮影、赤外線での撮影、顕微鏡による撮影を駆使した、より詳しい作品の素材や絵具の調査、おおよその製作時代の調査などです。



赤外線を用いることで、過去の修復痕や通常は目に見えない損傷、作品の構造まで読み取ることが出来る可能性があります。



顕微鏡で見ると作品の素材、絵具の種類、どのような技術を用いているのかなど、様々なことが分かります。

写真①の場合、絹に描かれた作品で、繊維の撚りが甘く、目が粗い事が分かり、写真②では青色部分に粒子の粗い岩絵の具を使用し金箔を細く切ったものを貼り付ける「錐金」という、日本の伝統的な手法を使っていることが見てとれます。

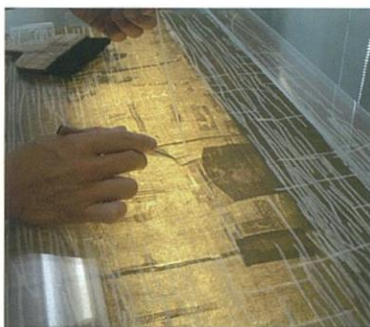


折れ伏せ作業
本紙の折れのある箇所、亀裂箇所、細長く切った楮紙を貼その後、増裏をうち、長期間仮張りに貼り込んで充分乾燥させます。



本紙肌裏打ち
染めた和紙で本紙の肌裏を打ちます。紙の接ぎ目に糊が溜まらないよう注意が必要です。

五、修復作業・工程の記録



折れ伏せの貼り込みは大変根気のいる作業。折れた部分の傷みを防ぐために、気の遠くなるような数の張り込みも手を抜けません。



絵の具の剥落を防ぐ作業。絵の具の浮いた箇所は慎重に固定剤を注入します。



仏像の修理。無数の虫喰いの穴をひとつひとつ修復していきます。



足場を組んで大がかりな壁画の修復。このケースでは、いったん壁から剥がして修復の後、壁に戻しました。



傷んだ裏打ちを慎重に取り除きます。裏打ちを剥がした後は、補填する絹を欠損している形に合わせて切り抜きます。



いったんはがした亀裂、断裂部分を修復地図に基づいて、定位置に戻します。



補填する絹を貼りこんでいるところ。



欠損部分にあわせて補絹を切り出しているところ。



補彩
必要に応じて彩色の欠損を補彩します。



裂地肌裏打・増裏打
本紙と同様に裂地に肌裏を入れます。その後、増裏を入れて仮張りに貼り込みます。



切り継ぎ、断合
仮張りより本紙、裂地を剥がし、パーツ毎に化粧立ちして切り継ぎし、耳断ちをします。

六、仕上がり・納品

修復完了後、修復前と修復後の比較写真を添えてお引渡しいたします。

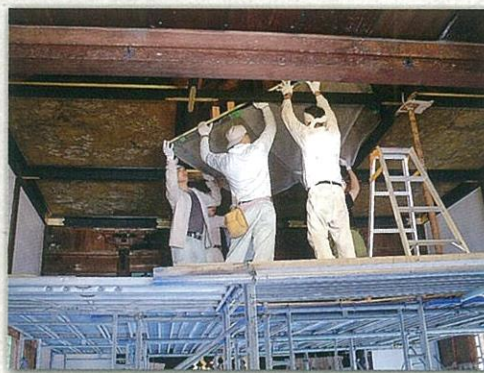
オプションをご用命頂いた場合は、併せてご報告いたします。

長い年月の間に足もと部分が失われていました。紙を足し、熟練の絵師が失われた部分を推測し、新たに描きくわえて再生しました。

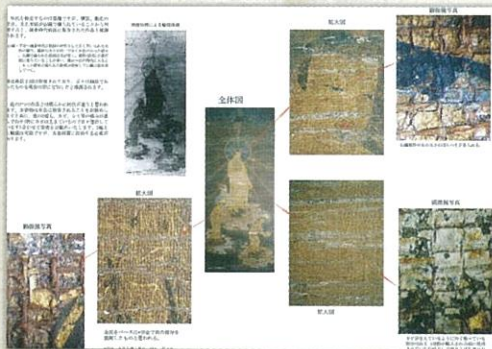
〈修復後〉



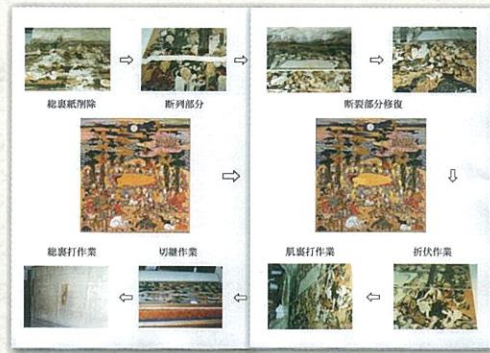
〈修復前〉



修復した天井画の納品風景



調査結果報告書 (オプション)



修復工程アルバム (オプション)

中裏打ち／総裏打ち

薄い糊を用いて紙や絹で裏打ちをします。打刷毛で全体を何度も往復して打ち込みます。

最後に打刷毛で毛羽立った総裏紙を湿らせたシユロの撫で刷毛で丁寧な擦りこんでいきます。



この後、長期間仮張りに貼り込み、乾燥させて仕上がりです。

一例をとって修復の流れをご紹介しますが、修復の手順は修復品の状態によってさまざまです。

まずは、材質や傷みの状態を正しく判断することが重要です。

修復Q&A

Q 見積をしてもらった後に修復依頼を止めることはできるのでしょうか？

A もちろん、お取り止めいただけます。まずは診断と見積をもとによくご検討いただいたうえで、正式にお申込みいただいた場合のみ、修復にかかります。

Q どのくらいまで綺麗に修復出来るか、あらかじめ分かかりますか？

A 修復後の仕上がりの程度につきましても、診断の段階で吟味をした後に、仕上がりが「予測」をお話することになります。修復にかかる以前に仕上げ状態を正確にお伝えすることは、不可能です。

Q 修復途中で追加料金が発生する場合がありますか？

A 依頼主様より修復途中でオプションの追加のあった場合には新たに料金が発生します。その他は見積以上の料金はかかりません。

Q 修復内容を指定することは出来ますか？

A はい、可能です。可能な限りきれいに修復するためにかかる費用をお見積りすることも、希望に応じて修復のレベルを決めることも出来ます。例えば、作品の元の姿に近づけるために、熟練の絵師が欠けた部分を残らず補彩する方法もありますし、欠けた部分はそのままに、クリーニングとさらなる劣化を防ぐための処置に留めることも出来ます。

工房沿革

- 昭和 元年 京都銀閣寺畔にて初代創業
- 四三年 京都表具展にて京都商工会議所会頭賞を受賞
- 四五年 労働大臣より表具一級技能士の認定
- 五二年 日本橋三越での「甲斐庄楠首画伯回顧展」の六曲屏風「虹のかけ橋」(後京都国立近代美術館蔵)を修復。
- 五四年 京都表具展覧会にて京都府知事賞を受賞。
- 五八年 奈良県長谷寺の国宝西界大曼荼羅版画を額装。
- 六二年 池袋セゾン美術館「甲斐庄楠首遺作展」の八曲屏風(畜生塚)を修復
- 六三年 大本山天龍寺派塔頭、松殿寺の大額(平田精耕老大師の大円相)製作
- 平成 四年 京都市、臨濟宗大仙院の「十六羅漢図」十六幅表具を修復
- 七年 長野県、日蓮宗大法寺の釈迦涅槃図(駒ヶ根市文化財指定)を修復
- 九年 大阪府、真宗大谷派光善寺の親鸞聖人真筆十字御名号(市文化財指定)を修復
- 一〇年 京都表具展の表具修復部門にて、知事賞を受賞
- 一四年 滋賀県、真宗大谷派萬福寺の親鸞聖人の座像表具(市文化財指定)を修復
- 一五年 太子町、斑鳩寺 聖徳太子絵伝(町指定文化財)修復
- 倉敷市、財団法人竜王会館(野崎家旧宅 国指定重要文化財)の大衝立、屏風等所蔵品を修復
- 京都市、岩倉実相院 襖を修復
- 曾根天満宮 天井絵を修復
- 一八年 津市、浄土真宗高田派大本山専修寺 御影堂内陣欄間を修復
- 一九年 飯田市、飯田市美術館蔵 方便法身尊像(市指定文化財)を修復
- CANON文化財未来継承「綴」プロジェクトに参加
- 二〇年 東京国立博物館所蔵 国宝「松林図」レプリカを製作(同博物館に永久保存)
- 長野県伊那市指定文化財「十六羅漢図」を修復
- 米沢市上杉博物館所蔵 国宝「洛中洛外図」レプリカを製作(同博物館に永久保存)
- G8洞爺湖サミット 本会議場装飾屏風を製作
- フランス パリ開催「相国寺・金閣・銀閣名宝展」伊藤若冲「芭蕉図」レプリカを製作
- 平成二十年度「京都市伝統産業技術功労者」に認定
- 二二年 山口県毛利博物館所蔵 国宝「山水長巻」レプリカを製作(同博物館に永久保存)
- 京都建仁寺所蔵 重要文化財「雲龍図」レプリカを製作(永久保存)
- 長野県伊那市指定文化財「九華山詩」を修復

修復に関するお問い合わせ、ご用命は：

方丈堂出版 美術修復事業部

電話 〇七五―五七二―七五〇八

ファクス 〇七五―五七一―四三七三

メール Kyoto@hojodo.com

住所 〒六〇一―一四二二

京都市伏見区日野不動講町三八―二五